



令和元年度

茨城県優良図書

中学生向け

※金額は全て税抜き表示です。

『天地ダイアリー』

ささきあり 作

(フレーベル館) 1,400円



中学1年の広葉は、マスクをしないと学校に通えない。目立たないように地味な栽培委員会を選んだが、植物の栽培を通して意外なメンバーと関わるうちに、いつしか自分も変わっていくことに…。

『南西の風やや強く』

吉野万里子 著

(あすなろ書房) 1,400円



大切な模擬試験の前夜、「南西をめざさねえ？」という多朗のひと言で、江ノ島を目指し夜通し歩くことになった伊吹。親に勧められた名門中学への受験を前にして、多朗との不思議な友情が生まれていく。

『むこう岸』

安田夏菜 著

(講談社) 1,400円



有名進学校の勉強についていけず公立中学校に転校してきた少年、山之内。同じクラスの少女に、あるきっかけで少年アベルの家庭教師を頼まれる。いやいや引き受けた家庭教師だったが、アベルとの触れ合いの中で山之内に変化が…。

『給食アンサンブル』

如月かずさ 作

(光村図書出版) 950円



父親の会社が倒産して、私立の女子学院から公立の中学校に転校してきた美貴。今までの生活が一変し、心の整理がまだつかない。転校の理由を周囲の友だちには隠してきたが、事情を知られてしまい…。6人の中学生の給食にまつわる物語。

『その景色をさがして』

中山聖子 著

(PHP研究所) 1,400円



「トーコにどうしても見せたい景色があるのよ。」
そう言って母は中学生のトーコを残して旅立って逝った。
ママの残した手紙から、知らなかったママのことを知るトーコ。ママが見せたかった景色とは…。



『ヴァンダーカンマー ここは魅惑の博物館』

櫻崎茜 著

(理論社) 1,400円



「博物館かあ。いったいどんなことするんやろ。」
博物館での職場体験が決まった5人。それぞれが違う仕事を手伝うことに…。
博物館、そこはまさかの「奇跡の部屋」だった。

『リマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ』

こまつあやこ 著

(講談社) 1,200円



中学2年の沙弥は、マレーシアからの帰国子女。ある日3年生の図書委員、通称「督促女王」佐藤先輩に呼び出され、短歌を詠む吟行に誘われる。
短歌の五・七・五・七・七はマレーシア語でリマ・トゥジュ・リマ・トゥジュ・トゥジュ…。



『君だけのシネマ』

高田由紀子 作 / pon-marsh 絵

(PHP研究所) 1,500円



過干渉の母親を新潟に残して、父とともに佐渡へ渡った史織。
転校した学校でできたクラスメイトや「カフェ&映画館 風のシネマ」のオープンを目指す祖母との関わりの中で、「自分の居場所」を見つけていく。
そしてついに、自分の思いを母親に告げる。

『泥』

ルイス・サッカー 著 / 千葉茂樹 訳

(小学館) 1,400円



学校は、何キロにもわたる森に囲まれている。森の中で何が研究されているかは誰も知らない。
この森の中にある「泥」から、それは始まった…。
バイオテクノロジーが生んだ微生物の恐怖を描くパニック小説。

『14歳、明日の時間割』

鈴木るりか 著

(小学館) 1,300円



「一時間目・国語」小説を書いている明日香。
「二時間目・家庭科」料理も洋裁も苦手な母親からの願いを受け、家庭科が得意になった葵。
「三時間目数学」進学塾で9点を取り落ち込む修也…。
時間割に見立てて、現役中学生が書いた7つの物語。

このチラシに掲載された図書は、原則として、平成30年4月1日以降平成31年3月31日までに出版された図書で、図書館司書、読書団体、出版社等から推薦のあったものの中から「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」の規定に基づいて推奨したものです。

図書を選ぶ際の参考として御活用いただければ幸いです。

○お問い合わせ先

茨城県保健福祉部子ども政策局青少年家庭課

茨城県水戸市笠原町978-6

TEL 029-301-2183